

報道関係者各位

2011年1月27日

## イケア 2010年キャンペーン寄付総額約13億円 40カ国、800万人の子どもたちの教育支援のために

社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

2010年11月から12月（日本では、11月1日から1月3日）にかけて実施されたイケアのソフトトイ・キャンペーンにより、世界300以上のイケアストアで販売された860万個のソフトトイ、および絵本1つにつき1ユーロ、さらにキャンペーン最終週に販売された全ての子ども用商品およびキッズ・メニューの1つにつき1ユーロによる寄付総額は、当初目標の1,000万ユーロを上回る、1,140万ユーロ（約12億7,680万円\*）となりました。これにより、2003年に始まったイケア ソフトトイ・キャンペーンの累計寄付額は約3,520万ユーロ（約39億4,240万円）となり、セーブ・ザ・チルドレン（以下SC）およびユニセフの活動を通して、アジア、アフリカ、中央・東ヨーロッパの約40カ国において、800万人の子どもたちの教育支援に活用されます。\*2011年1月時点

日本では、イケア・ジャパン株式会社より33万6,130ユーロ（約3,764万円）のご寄付をいただきました。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、これまでに引き続きベトナムの少数民族の子どもたちの教育支援に活用いたします。

イケアとSCのパートナーシップは、1990年代、イケアの児童労働防止の行動規範作りにSCがアドバイザーとして関わったことから始まりました。現在、イケアはSCにとって最大の企業パートナーとなっています。子どもの教育を受ける権利の保障を基盤とするこのパートナーシップは、国連ミレニアム開発目標の達成にも大きく貢献するものです。すべての子どもたちの教育へのアクセスを確保することにより、病気と闘い、貧困と飢えを撲滅するために必要な知識を構築することができます。\*2011年1月時点



### ソフトトイキャンペーン

世界では未だに6,900万人の子どもたちが、教育を受ける権利を否定されています。当キャンペーンの寄付は、最も困難な状況に置かれた子どもたちの教育改善を目標とし、より良い学校施設、水道・トイレ設備、少数民族の子どもたちの教育、子どもたちにやさしい環境での教育方法に関する教員研修などに活用されています。

■セーブ・ザ・チルドレンとは：1919年に英国で設立した子ども支援NGO。現在、世界で29のそれぞれ独立した組織がパートナーを組み、世界最大級のネットワークを活かして約120カ国で活動を展開しています。90年にわたる活動は、世界のNGOの代表格として各国政府からもその重要性を認められています。